

■タイムスケジュール *天候、出演者の体調不良などにより、急な変更となる場合がございますが、ご了承ください。

	14 日(金)			15 日(土)		
	旧朝日屋酒造蔵映像 インスタレーション	城原神社神楽殿 音楽ステージ	ギャラリー コネクトプラス	旧朝日屋酒造蔵映像 インスタレーション	城原神社神楽殿 音楽ステージ	ギャラリー コネクトプラス
10:00						
11:00	10:30 ヒグマ春生(映像) 曾我傑(音楽) 森貴也(彫刻) インスタレーション	10:00 奉納演奏 / 上松俊介 河野里菜 wind rumor		10:00 奉納演奏 / 前田健治		
12:00	11:30 チェロ独奏 河野里菜	11:00 暮らすバンド	11:00 ヒグマ 春夫 展	10:15 芸術祭開催祝賀会		
13:00		12:00 wind rumor		10:30 講演会 / 総務省アドバイザー 井上幸一	11:00 ヒグマ 春夫 展	
14:00	13:30 花道パフォーマンス 水面結	13:00 古賀小由実 / 河野里菜 / 黒木真子		12:00 ヒグマ春生(映像) 曾我傑(音楽) 森貴也(彫刻) インスタレーション		
15:00	14:30 コンテンポラリーダンス 芳宇	14:00 REGALO 上松俊介 / 溝口伸一		13:00 書道パフォーマンス カゾノシンジ		
16:00		15:00 高石純二 / ハルナユ		14:00 花道パフォーマンス 水面結		
17:00	17:00 フリーセッション	16:00 坂田飛鳥 / 黒木真子		15:00 ダンスパフォーマンス 華～puspa～ (中西浄華/優華)		
		16:30 終了		16:00 ダンスパフォーマンス 華～puspa～ (中西優華/浄華)		
				17:00 フィナーレ ダンスパフォーマンス 華～puspa～(中西浄華/優華) フリーセッション	終了	



入場料

(展覧会、音楽ライブ、マルシェ全共通入場券)

大人 2,500 円 大学生 1,500 円
中学・高校生 1,000 円 小学生以下 無料



チケットは
こちらから
購入できます。

駐車場/十分な駐車場を確保できておりませんので、乗り合わせ、
または豊後竹田駅のバス停から(長湯線・城原バス停)にてお越しください。
(竹田市バス路線総合案内) taketa-businfo.jp

14 日 城原神社駐車場

15 日 城原小学校グラウンド、城原神社駐車場

※駐車場内の事故につきましては、主催者は一切の責任を負いかねます。

マルシェ

14 日(金)

MINNA food(ケーキ、キッシュ、焼き菓子など)
nagia coffee(コーヒーほかドリンク)
量り売りからはな百貨店(豆乳ドーナツなど)
ニドム(スイーツなど)
ソーキそば加藤
天然酵母 Yu-ki 庵(天然酵母のパン)
カレー屋 Momo
タヌカ(蚤の市)
宝月(ラオス風焼き鳥)
たきのねいろ(加工品など)
星ふる高台の家(ボン菓子、おにぎりなど)
Studio tamtam(ライスコロッケ)
山の上のギャッベ専門店「ヒルネノネ」
とよくに農園(加工品、米)
阿南農園(焼き芋、野菜)
宝牧舎(牛肉の加工品)
コネクトプラスチーム(蚤の市、古物色々)
甲斐哲哉(Kai works 陶器)
かたひかり(焼き菓子など)
明石農園(手作り蒟蒻など)
暮らす実験室 IKI(焼き菓子、リラグレーション)
おおいた在来作物研究会(蒸しもちとうきびほか)
io x YUNOHIRA ART SIGHT(焼き菓子とアート)
穴見消判製作所(消しゴムハンコ、グッズ)
ポエム教室(ワークショップ)
Gen(小さなアート作品とグッズ)
旧朝日屋酒造角打ち
Beppu Sake stand 巡

15 日(土)

COZUCHI natural food works
(つばめ食堂・IDEE 食堂のユニット)
宝月(ラオス風焼き鳥)
タヌカ(蚤の市、)
たきのねいろ(加工品)
ネルコ(雑貨)
Studio tamtam(ライスコロッケ)
北川晶子の水晶占い
山の上のギャッベ専門店「ヒルネノネ」
高倉ぶどう園(加工品)
とよくに農園(加工品)
宝牧舎(加工品)
808 yamaji(コーヒー、野菜の lunch box、おやつ)
io x YUNOHIRA ART SIGHT(お菓子とアート)
ねじまき(焼き菓子など)
Jyoti Cafe ヨガアンピカ(マサラチャイ)
コネクトプラスチーム(蚤の市、古物)
一也百(はなやもも) Steam Labo(発酵ジャムなど加工品)
FRIEND COFFEE x 算命学 八朔(コーヒーと占い)
甲斐哲哉(Kai works 陶芸)
Kitchen Usuda(パンと焼き菓子)
アイタル(タイ料理)
かたひかり(焼き菓子)
ポエム教室(ワークショップ)
Life gallery 花
hasuha(ドリンク)
日本酒 Bar Awaya(角打ち)

KIBARU Arts Festival 2025

11/14(Fri)・15(Sat)

10:00~17:00

～記憶を繋ぐ～

城原(きばる)総合芸術祭

展覧会、マルシェ&蚤の市、音楽ライブ

場所/城原八幡神社、旧朝日屋酒造(廃蔵)、
gallery CONNECT PLUS

主催・企画運営/合同会社コネクトプラス

「古民家は地域の
アイデンティティ、
～空き家の可能性と未来～」

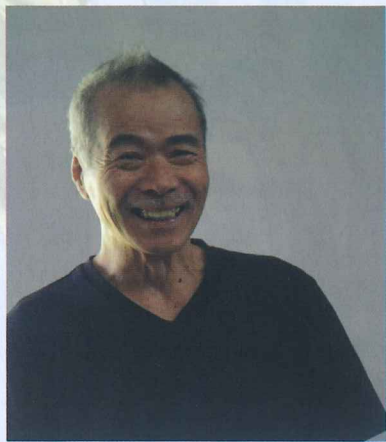
講師 井上幸一

(総務省 地域力創造アドバイザー、農林水産省 農泊地域専門家、
大正大学客員教授)

講演会

15 日
10:30~11:30
場所/城原八幡社(社務所)

KIBARU Arts Festival (城原総合芸術祭) はただのイベントではありません。" 城原プロジェクト ～記憶を繋ぐ～" をテーマとしたアート思考で町づくりをするプロジェクトの、プレゼンテーションの場として開催いたします。このプロジェクトは彫刻家 森貴也が竹田に拠点を構えた 2016 年から始まりました。遥か彼方 1,600 年以上の歴史をもつ城原地域の地続きの記憶、アイデンティティを持続可能な未来へと繋げ、エコでサスティナブルな社会の実現に向けた " アート × 音楽 × 食 × 農業 × テクノロジー " の循環、" 城原八幡神社を中心とした町づくり " を創造するプロジェクトです。まずは、なるべくゴミを出さずに、再利用できるものは活かせる場所に再利用し、空き家を再生することから始まりました。第一ステージは元仕出し屋の旧佐藤邸を "cafe &studio H i ! Yoriyo"、人と人との繋げる場としてコロナ禍の 2021 年 10 月 10 日にオープン。第二ステージは "gallery CONNECT PLUS" を過疎地の里山の実験的企画ギャラリーとして 2022 年 4 月 8 日にオープンし、不定期営業にも関わらず、これまで 2 万人以上の国内外の方々に足を運んでいただき、沢山のご縁が繋がりました。第三ステージとなるべく空き家は私たちに抱えきれないくらい大きなもので、廃業した造り酒屋、" 旧朝日屋酒造 " です。約 1,000 坪の大、中、小を構える酒蔵と角打ちのある酒屋 (母屋) で明治から昭和初期にかけて作られた建物です。特に酒蔵は痛みが酷く、壊すという選択肢の多い中、なんとか壊さず、再生の道はないのかと、大学や実業家などへ 3 年間ご紹介をしてきましたが、叶いませんでした。「酒屋の煙突は城原のシンボルだから壊さないで欲しい」「かつてはこの蔵で、地域のお祭りやカラオケ大会が開催されていたよ」「城原の中心だったんよ」など地域のお年寄りのお話をおうかがいしたり、廃蔵のその梁の美しさ、もう 2 度とは作れないであろう、当時の木材や職人の技が愛おしくなり、無謀にも私達が引き継ぎます! となったのが、2022 年 11 月 1 日でした。古民家鑑定、再生のプロの概算で、壊して 1 億、再生 10 億と言われた物件です。大きな蔵の瓦を下ろすだけで、1,000 万以上かかると言われています。勿論、そんな資金はありません。どうしたものかと、沢山の方々に相談して事あることに出会った方々にこの酒蔵の事をお話してきましたが、月日が流れていけばいくほど、近年は雨が多く、雨漏りの場所から柱が朽ち、壊れていき、その姿をただなす術(すべ)なく、心配と祈りで見ているという日々が続きました。かつては多くの地域の方々を雇用し、日本酒は数々の受賞をされた場所、水の記憶があるように、きっと麹の記憶も、建物の記憶も残っている気がします。不思議なことにもいつも眺めていると、その煙突や蔵が静かに息づいて、話かけてくるような感覚になるのです。2 年の時が流れ、仕事をしながらそのような活動をしているとき、偉大なアーティスト、映像作家／美術家のヒグマハルオさんとの出会いがあり、「10 年間の集大成である作品をココ (廃蔵) でや発表したい!!」と言ってくださったとき、パツと目が開いて光が差ししました。『そうだ! 映像ならば、ここでやれる! ヒグマさんの作品ならば、そこからまた新しい何かが生まれる!』と直感しました。そのような経緯から、2016 年から妄想で頭の中でイメージしていたこと、いつもはひっそりとしている城原神社の参道でマルシェや蚤の市をしたら素敵だなとか、紅葉が美しい松原公園で音楽ライブをしたら最高だなとか思っていたことを時間がない中ですが、この機会に同時に自費と皆様の参加費 (入場料) で開催する運びとなりました。城原の神様、旧朝日屋酒造に宿る物、土地や建物に宿る精霊と、元の持ち主、豪華で素晴らしいアーティスト、ミュージシャン、出店者の皆さまが喜んで参加していただける今回の企画に、来場者の方々が参加してくださるという、平和であたたかい輪が広がることをイメージした総合芸術祭です。大自然、歴史、芸術、文化、音楽、食、を五感で体感していただき、心豊かな時間を過ごしていただけますと幸いです。



曾我 傑 サウンドアーティスト

office S.O.G.A. 代表。オフィス・ソガは会社などの法人組織ではなく、アーティスト、職人などのネットワークの中の一つの交差点のような機能をしている。人々と共に創造の結果とプロセスのダイナミズムを分かち合うことが、この活動を持続する理由であり、且つ現代社会に付き合うエネルギーともなっており、ハード、ソフト両面で創作実現へのアプローチを可能にし、更に直面する経済的リスク、コストカバーについても、ともかく目的は何か、から逆算した可能性について、総合的に解決させるべく協同する事を信条としている。

記憶を繋ぐ

きばる
城原総合芸術祭 (大分県竹田市城原)

KIBARU Arts Festival 2025

ヒグマ 春夫 映像作家／美術家

'90 年度文化庁派遣芸術家在外研修員として NY に 1 年間滞在し、ビデオインスタレーションをリサーチする。その成果発表が '08 年「DOMANI・明日」展」として国立新美術館で開催され、映像インスタレーションと映像パフォーマンスを行う。'02 年映像を用いたインスタレーション「DIFFERENCE」で、第 5 回岡本太郎記念芸術大賞展で優秀賞。'04 年「水の記憶・ヒグマ春夫の映像試論」川崎市岡本太郎美術館・個展。'06・'09 年大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ '17・'19・'21 年 中之条ビエンナーレ。他に銀座 K's ギャラリーでのヒグマ春夫展と「連鎖する日常／或いは非日常」。「ヒグマ春夫の映像パラダイムシフト」等のシリーズ化がある。農家の末息子として育った自身が群馬で古い農具と出会い、10 年間デジタル化し作品制作を行ってきた。今回は会場の酒蔵 (廃蔵) にインスピレーションを受け、過去 10 年間の集大成として、インスタレーション作品を発表する。



森 貴也 彫刻家

過去から未来へ、「記憶を繋ぐ」こと
経年劣化や、震災天災で役目を終えたモノたちをマイナスからプラスへ「誰かの光」にすることをメインテーマに作品を制作している。
各地で個展、グループ展、ワークショップ、講演会等の活動を行っており美術館や公共施設の屋外モニュメントも手掛ける。近年では、サンリオとのコラボ作品を制作、コンクール (立体部門) の審査員等、活動の幅を広げている。
2018 年から、大分県竹田市城原地区の空き家を再生する「城原プロジェクト」を始動。アーティスト仲間や大学、その他有志の方々と連携して取り組んでいる。



中西 浄華 (きよか)



中西 優華 (ゆうか)

華～puspa～ (ぶしゅば)

中西浄華・優華による姉妹ユニット。
京都に生まれ、酒蔵の町・伏見で育つ。幼少期よりジャズダンサー吉田千佳子氏に師事。DANCE OFFICE ONE にて様々なダンスを学ぶ。
2002 年より姉妹タップデュオとして活動開始。



芳宇 / ダンサー



鹿苑 晋史 | カソノシンジ
／書家



水面結 / 花道家



河野 里菜 / チェロリスト



前田健治 / ピアニスト



上松俊介
／フルート & サックス & 能管奏者



wind rumor
／ギター & アコーデオン



河野里菜 / チェロリスト



ハルナユ (柳 春菜)
／シンガーソングライター



Uta / ボーカリスト



古賀 小由実
／シンガーソングライター



桜井 まみ
／シンガーソングライター



黒木 真子 / バイオリニスト



坂田 飛鳥
／シンガーソングライター



ヒライマサヤ
／シンガーソングライター



齋藤 雅 / 箏奏者



溝口伸一
／クラシックギタリスト



梅家 由香
／フルーティスト



暮らすバンド



高石 純二
／シンガーソングライター

パフォーマンス

音楽ライブ

奉納演奏